

平成 26 年度第 2 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 26 年 7 月 24 日（木）9:30～9:50
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 子ども・少子化対策計画（仮称）の考え方について

●西城子ども・家庭局長

計画づくりについては、18 日に開催した少子化対策推進県民会議で、計画策定部会で議論することとなった。7 月 28 日に第 1 回の部会を開催し、今後 8 月、9 月と開催する予定。

今回重点化施策の議論を進める関係から、重点的な取組案を提示した。

●藤川少子化対策課長（資料 1 に基づき説明）

計画案では、家庭・家族に着目した点が新しいのではないかと考える。

☆加藤観光・国際局長

P6 の地方目線とはどういう意味か。

●藤川少子化対策課長

全国のうちの都市部と地方という点と、三重県内においても南北で地域の状況は異なるので、それぞれの地域の目線でという意味である。

☆石垣副知事

従来のパラダイムを変える必要があるとのことだが、若者の雇用の劣化が少子化の主要因なのか。

●藤川少子化対策課長

少子化の大きな要因として、未婚化、晩婚化があり、それは若者の経済状況が悪化していることが原因との指摘がある。若いうちに雇用を安定させることが大切と考える。

☆鈴木知事

各部局で関連すると思われる計画は、しっかりこの計画を視野に入れて進めてほしい。関係ないと思わないこと。

P4 の原則のところでは、言葉の使い方を精査すること。

「自由な」とすると、ネグレクトなども親の自由という風にとらえられかねない。

「これまでの」とすると、従前の取組がすべて否定されるイメージもできる。

「子育てを地域社会で支える」では、家族を支えるというイメージを入れてほしい。